

## 言葉の大切さ実感

ゲームなど通し学ぶ

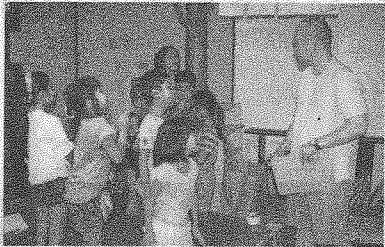
大牟田

学習塾の有明塾（倉岡清見塾長）が運営する学童ハウス「SEEDs BOX」は二十日、大牟田市今山の同施設で、言葉と心をつなぐ「想う授業」を実施した。子どもたちはゲームなどを通して、

言葉の大切さを実感した。【写真】

同学童ハウスは多彩な体験活動の特徴としており、この日はイメージコーディネーターの平尾元（はじめ）さんを講師に迎えて特別授業を実施。年中児から小学四年生まで十一人が参加した。

初めに平尾さんの呼び名をみんなで話し合っ



が呼ばれたい名前を考えて、名札を製作。「人が嫌な気持ちになる」とは言わない」「人の言ったことが納得できたら、大きく反応して身体言語（ボディランゲージ）で相手に伝える」という二つの約束事の下、授業を進めた。

子どもたちは身体言語や絵を使って人に伝えるゲームを通して、言葉の便利さ、大切さを認識した。また「時間」と「お金」はどちらが大事？」をテーマにプチ討論会を開催。自分の「命」と密接なつながりを持つ重要な二つの言葉への意識を高めた。

（河野 美緒）